

落葉状態の観察を

秋が深まり、「ふじ」の収穫も終盤を迎えます。まだ収穫が残っている大規模リンゴ園では、果実が凍結しないうちに終わるよう急ぐ必要があります。収穫後は、直ちに基肥の施用を行います。施肥量は今年の枝の生育、着果量、果実の着色、樹相診断などを加味して決めます。基肥を根雪前に施用できなかった場合は、春先に施します。

腐らん病の激発地では、落葉期のトップジンM水和剤やベフラン液剤などの薬剤散布が効果的です。また、除草剤の晩秋散布処理は、来春の6月上旬ごろまで雑草の生育が抑制され、省力化になり、野ネズミの駆除策にもつながるので実施したい技術です。